# 2026年度　武庫川女子大学大学院修士課程【前期募集】入学試験　問題・解答用紙

| 科　　目 | 栄養教育論 |
|---|---|
| 辞書・参考書等の持込みの可否 | 可（条件：　　）否 |

| 志望専攻等 | 食物栄養科学研究科　食物栄養学専攻　健康栄養科学コース | | |
|---|---|---|---|
| 受験番号 | | 氏　名 | |

〔 1枚中の 1枚目 〕

**問題1．高血圧症患者の栄養教育におけるアセスメントを実施するにあたり、プリシードプロシードモデル上の準備要因、強化要因、実現要因、行動、環境の要因ごとに具体例（アセスメント項目）を挙げなさい。**

**【出題の意図】**栄養教育マネジメントの基礎知識として、高血圧症という具体的な対象にモデルを応用できるか、栄養教育の計画立案につながる視点を持てているかを確認する

**問題2．カウンセリングの技法である傾聴、受容、共感について説明しなさい。**

**【出題の意図】**栄養教育の理論的基礎知識としてカウンセリングの基礎技法を正しく理解しているかを確認する

**問題3．現代の日本人の栄養課題と、変化の激しい社会情勢をふまえて、今必要とされる1次予防の栄養教育についてあなたの考えを述べなさい。**

**【出題の意図】**現代日本の栄養課題を正しく把握できているか、社会情勢の変化と栄養問題を関連づけて考えられているか、1次予防の視点から栄養教育の役割を理解しているかを確認するとともに、自分の考えを論理的にまとめる力を評価する

〔継続用紙　有　・　無　〕

# 2026年度　武庫川女子大学大学院修士課程【前期募集】入学試験

| 科　　目 | 生化学 |
|---|---|
| 辞書・参考書等の持込みの可否 | 可（条件：　　）否 |

| 志望専攻等 | 食物栄養科学研究科　食物栄養学専攻　健康栄養科学コース | | |
|---|---|---|---|
| 受験番号 | | 氏　　名 | |

【出題意図】

健康被害で話題となった紅麹（小林製薬株式会社）について、混入した毒性成分に注目が集まった。一方で、紅麹の機能性表示食品の届け出成分はほとんど報道されなかった。栄養学を修了した学生（特に、管理栄養士）は、古典的な栄養素だけでなく、機能性表示食品への理解（根拠論文やメカニズム）やも必要である。

そこで、時事問題と機能性表示食品への理解を問う内容を出題した。

# 2026年度　食物栄養学専攻健康栄養科学コース　英語　出題意図

食物栄養学専攻　健康栄養科学コースなので、一般的な栄養(食)に関する英語の知識を問う論文から出題しました。また、院生は大学院で研究を進める上で論文を読む、書くという機会が多くなります。これらを考慮し大学院に入る前に身に着けておくべき力を問う問題にしています。具体的には、論文の読み進め方の習得（単に英語を翻訳するだけでなく、論文に書かれている内容を大まかに捉える力）が必要となってきす。また、論文を書く際には、どのように研究結果をまとめるのか、そのポイントは何かを考える必要があり、限られた字数の中でどのように書き進めていくのかなど論文の構成についても把握しておく必要があります。以上のことを鑑み、単なる翻訳の問題ではなく、論文要約（アブストラクト）の構成順序も読み取れる問題を入れています。

# 2026年度　武庫川女子大学大学院修士課程【前期募集】入学試験

| 科　　目 | 基礎栄養学 |
|---|---|
| 辞書・参考書等の持込みの可否 | 可（条件：　　）否 |

| 志望専攻等 | 食物栄養科学研究科　食物栄養学専攻　健康栄養科学コース | | |
|---|---|---|---|
| 受験番号 | | 氏　名 | |

【出題意図】

日本人の食事摂取基準について、2020年度版から2025年度版でいくつかの変更点があった。その代表的な変更点を中心に出題した。

2026年度　武庫川女子大学大学院　入学試験
食物栄養学専攻健康栄養科学コース　修士課程　後期　栄養教育論　出題の意図

**①近年、SNSや生成AIの普及により、個人が発信する多種多様な食・健康情報が溢れる一方、科学的根拠に基づかない情報の拡散等の問題が顕在化している。 このような情報環境の変化が、学習者の食行動や栄養教育に与える「正負両面の影響と課題」を整理した上で、これからの管理栄養士・栄養士に求められる「情報活用能力（情報リテラシー）」と「新たな役割」について、あなたの考えを述べなさい。**

本設問は、SNSや生成AIの普及による食・健康情報環境の変化を踏まえ、受験者が情報の正負両面を整理し、学習者の食行動や栄養教育への影響を多角的に捉えられているかを評価することを目的とする。あわせて、科学的根拠に基づく情報を適切に取捨選択・発信する能力を含む情報リテラシーへの理解と、変化する情報社会において管理栄養士・栄養士に求められる新たな専門職役割を構想できるかを問う。

**②地域住民の食習慣の改善は、一時的な教育活動だけでは定着しにくい。地域の社会資源や多職種との連携を通じた『食環境づくり』を含めた栄養教育の企画・実施・評価について、持続可能性（サステナビリティ）の観点から具体的に論じなさい。**

本設問は、栄養教育を個人の知識提供にとどめず、地域全体の食習慣改善を持続的に実現する構想力を評価することを目的とする。特に、社会資源や多職種との連携を通じた食環境づくりの重要性を理解し、企画・実施・評価を一連のプロセスとして論理的に説明できるかを問う。短期的成果ではなく、地域に定着する仕組みとして栄養教育を捉える姿勢を重視する。

# 2026年度　武庫川女子大学大学院修士課程【後期募集】入学試験

| 科　　目 | 応用栄養学 |
|---|---|
| 辞書・参考書等の持込みの可否 | 可（条件：　　）否 |

| 志望専攻等 | 食物栄養科学研究科　食物栄養学専攻　健康栄養科学コース | | |
|---|---|---|---|
| 受験番号 | | 氏　　名 | |

【出題の意図】

応用栄養学では、成長・発達・加齢による人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態の変化について、さらに、（身体活動・運動、ストレス、高温・低温、高圧・低圧などの）特殊環境条件下における生理的変化について、健康への影響に関するリスク管理の基本的考え方や方法（栄養ケア・マネジメント）を理解することである。これらを理解できているかを問う。

〔継続用紙　有　・　無　〕